

WHO ファクトシート

衛生設備

Sanitation

2016 年 11 月

重要な事実

- ・2015 年、世界人口の 68%が水洗便器や遮蔽された便所など改良された衛生設備へのアクセスを有している。1990 年は 54%であった。
- ・現在の世界人口のほぼ三分の一が、1990 年以降に、改良された衛生設備へのアクセスを獲得しており、その数は 21 億人にのぼる。
- ・24 億人は未だに便器や便所のような基礎的な衛生設備を使用することができない。
- ・このうち、9 億 4600 万人は、未だに、側溝や茂みの陰、あるいは池や湖などの中といった屋外で排便をしている。
- ・世界的に屋外での排便をしている人々の割合は、24%から 13%へと約半分に減少した。
- ・少なくとも世界人口の 10%は、排水を灌漑に用いた食物を消費していると考えられている。
- ・衛生設備の粗末さは、コレラ、下痢症、赤痢、A 型肝炎、腸チフスやポリオなどの疾病感染に関係している。
- ・不適切な衛生設備は、毎年 28 万人の下痢性疾患による死亡を引き起こしていると推計され、また腸内寄生虫、住血吸虫症やトラコーマなどの顧みられない熱帯病の主要な要因である。粗末な衛生設備は栄養失調にも影響を与えている。

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Sanitation ファクトシート原文は [こちら](#)